

2019年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

2018年11月6日

上場会社名 株式会社 メディカルシステムネットワーク

上場取引所

東

コード番号 4350

URL http://www.msnw.co.jp (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者(役職名)取締役執行役員財務部長

(氏名)田尻 稲雄 (氏名) 平島 英治

TEL 011-613-7750

四半期報告書提出予定日

代表者

2018年11月9日

配当支払開始予定日

2018年12月10日

四半期決算説明会開催の有無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

: 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上 | 高 | 営業和 | J益 | 経常和 | J益 | 親会社株主に 半期純 | |
|---------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第2四半期 | 47,560 | 2.2 | 476 | △62.5 | 438 | △65.5 | 119 | △67.0 |
| 2018年3月期第2四半期 | 46,552 | 7.3 | 1,271 | 131.5 | 1,272 | 134.6 | 363 | 447.2 |

(注)包括利益 2019年3月期第2四半期 163百万円 (△64.5%) 2018年3月期第2四半期 459百万円 (486.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 3.95 | 3.92 |
| 2018年3月期第2四半期 | 12.28 | _ |

(注)1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期第2四半期 | 61,682 | 10,693 | 17.4 | 352.52 |
| 2018年3月期 | 62,759 | 10,584 | 16.9 | 351.36 |

(参考)白己資本 2019年3月期第2四半期 10.710百万円 2018年3月期 10.625百万円

(注)自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

| HD *> > \ | | | | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|--|--|
| | | 年間配当金 | | | | | |
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | |
| | 円銭 | 円 銭 | 円銭 | 円 銭 | 円銭 | | |
| 2018年3月期 | _ | 5.00 | _ | 5.00 | 10.00 | | |
| 2019年3月期 | _ | 5.00 | | | | | |
| 2019年3月期(予想) | | | _ | 5.00 | 10.00 | | |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年 3月期の連結業績予想(2018年 4月 1日~2019年 3月31日)

(%表示は 対前期増減率)

| | (70数小15、对前别相似牛/ | | | | | | | | |
|----|-----------------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|----------------|
| | 売上 | ョ | 営業和 | 引益 | 経常和 | 引益 | 親会社株主/ 当期純 | | 1株当たり当期 純利益 |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 95,500 | 1.6 | 1,700 | △46.3 | 1,650 | △49.2 | 520 | △49.1 | 16.57 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- ※ 注記事項
- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 有④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年3月期2Q | 30,642,600 株 | 2018年3月期 | 30,522,600 株 |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期2Q | 261,115 株 | 2018年3月期 | 281,105 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年3月期2Q | 30,347,066 株 | 2018年3月期2Q | 29,608,495 株 |

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については 【添付資料】P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。一方、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式は自己株式に含めて算出しており、従業員株式給付信託(J-ESOP)の当社株式は自己株式とみなしておりません。

3.第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

| 1. 当 | 四半期決算に関する定性的情報 |
|------|--------------------------|
| (1) | 経営成績に関する説明 |
| (2) | 財政状態に関する説明 |
| (3) | 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 |
| 2. 四 | 半期連結財務諸表及び主な注記4 |
| (1) | 四半期連結貸借対照表4 |
| (2) | 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 |
| (3) | 四半期連結キャッシュ・フロー計算書8 |
| (4) | 四半期連結財務諸表に関する注記事項10 |
| (| 継続企業の前提に関する注記)10 |
| (| 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) |
| (| 会計上の見積りの変更) |
| (| 追加情報)10 |
| (| セグメント情報等)11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、主力事業である医薬品等ネットワーク事業が順調に推移したこと及び調剤薬局事業において新規出店やM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したこと等により、売上高は47,560百万円(前年同期比2.2%増)となりました。利益面につきましては、2018年4月に行われた薬価改定及び調剤報酬改定の影響等により営業利益476百万円(同62.5%減)、経常利益438百万円(同65.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益119百万円(同67.0%減)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高 を含んでおります。

①医薬品等ネットワーク事業

本事業に関しましては、新規加盟件数が順調に推移したことに伴い受発注手数料収入が増加したこと等により、 売上高は1,818百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益1,060百万円(同13.5%増)となりました。

なお、2018年9月30日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、調剤薬局2,917店舗、59病・医院の合計2,976件 (前連結会計年度末比467件増)となりました。

②調剤薬局事業

本事業に関しましては、当第2四半期連結累計期間に調剤薬局2店舗を新規出店するとともに事業譲受けにより5店舗を取得する一方、調剤薬局1店舗及びドラッグストア1店舗を閉鎖いたしました。2018年9月30日現在の店舗数は、調剤薬局405店舗、ケアプランセンター1店舗、ドラッグストア7店舗となっております。

当社グループでは、引き続き、地域住民の皆様の健康を様々な面からサポートする地域薬局として、在宅医療への取り組みやかかりつけ薬剤師・薬局としての機能の発揮等を推進しております。当第2四半期連結累計期間における業績は、新規出店及びM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したこと等により、売上高は44,035百万円(前年同期比2.7%増)となりました。利益面につきましては薬価改定及び調剤報酬改定の影響等により、営業利益202百万円(同83.4%減)となりました。

③賃貸·設備関連事業

本事業に関しましては、不動産賃貸収入が堅調に推移したことや、医療施設等の設計施工監理業務が増加したこと等により、売上高は1,508百万円(前年同期比38.8%増)となりました。利益面につきましては、2018年11月に開業した5棟目となるサービス付き高齢者向け住宅「ウィステリア南1条」の費用が先行するものの、上記の売上高増加が業績に寄与したこと等から、営業利益10百万円(前年同期は営業損失73百万円)となりました。

なお、「ウィステリア千里中央」の入居件数は、2018年9月30日現在全82戸中45戸であり、引き続き積極的な 営業活動を行っております。

④給食事業

本事業に関しましては、2017年10月以降、不採算施設の撤退を進めたことや一部施設における労務費の増加等により、売上高は1,586百万円(前年同期比31.0%減)、営業利益18百万円(同46.1%減)となりました。

⑤その他事業

本事業に関しましては、売上高は91百万円(前年同期比72.1%増)、営業損失73百万円(前年同期は営業損失58百万円)となりました。なお、医薬品製造販売事業を行う株式会社フェルゼンファーマは、2018年6月より後発医薬品の販売を開始し、良質で安価な後発医薬品の安定供給に取り組んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は61,682百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,076百万円減少しました。

流動資産は16,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,209百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は44,886百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円の増加となりました。主な要因は、繰延税金資産等が増加したことによるものであります。

負債の部は50,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,185百万円の減少となりました。流動負債は21,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ468百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が増加したものの、買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は29,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ716百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が減少したことによるものであります。

また、純資産の部においては、10,693百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円の増加となりました。主な要因は、株主資本及びその他の包括利益累計額が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ 1,671百万円減の8,464百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につい ては以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、48百万円の支出(前年同四半期は3,359百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益411百万円、減価償却費736百万円及びのれん償却額564百万円等があったものの、たな卸資産の増加494百万円及び法人税等の支払額1,509百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,474百万円の支出(前年同四半期は2,811百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出413百万円及び事業譲受による支出968百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、274百万円の支出(前年同四半期は4,755百万円の収入)となりました。 主な要因は、短期借入金の純増額666百万円及び長期借入れによる収入1,300百万円があったものの、長期借入金の 返済による支出1,835百万円及びリース債務の返済による支出313百万円によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月8日に発表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

| | | (単位:百万円) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日) |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10, 201 | 8, 464 |
| 売掛金 | 2, 332 | 2, 066 |
| 債権売却未収入金 | 683 | 641 |
| 調剤報酬等購入債権 | 412 | 368 |
| 商品 | 3, 418 | 3, 919 |
| 原材料 | 17 | 16 |
| 仕掛品 | 6 | 9 |
| 貯蔵品 | 79 | 71 |
| その他 | 863 | 1, 249 |
| 貸倒引当金 | | △12 |
| 流動資産合計 | 18,004 | 16, 795 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 9, 955 | 9, 721 |
| 土地 | 9, 258 | 9, 211 |
| 建設仮勘定 | 2, 688 | 2, 825 |
| その他(純額) | 2, 227 | 2, 144 |
| 有形固定資産合計 | 24, 129 | 23, 903 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 14, 451 | 14, 447 |
| ソフトウエア | 473 | 418 |
| その他 | 120 | 121 |
| 無形固定資産合計 | 15, 045 | 14, 987 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 812 | 842 |
| 差入保証金 | 1,720 | 1,824 |
| 繰延税金資産 | 1,912 | 2, 148 |
| その他 | 1, 164 | 1, 201 |
| 貸倒引当金 | △31 | △20 |
| 投資その他の資産合計 | 5, 578 | 5, 996 |
| 固定資産合計 | 44, 754 | 44, 886 |
| 資産合計 | 62, 759 | 61, 682 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 | 当第2四半期連結会計期間 |
|---------------|----------------|--------------|
| | (2018年3月31日) | (2018年9月30日) |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9, 416 | 9, 052 |
| 短期借入金 | 2, 950 | 3, 616 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3, 949 | 4, 066 |
| 未払法人税等 | 1, 135 | 214 |
| 賞与引当金 | 1, 244 | 1, 315 |
| 役員賞与引当金 | 84 | _ |
| ポイント引当金 | 8 | 8 |
| その他 | 2, 980 | 3, 025 |
| 流動負債合計 | 21, 769 | 21, 300 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 24, 679 | 24, 026 |
| 役員退職慰労引当金 | 580 | 588 |
| 役員株式給付引当金 | 125 | 126 |
| 退職給付に係る負債 | 2, 128 | 2, 266 |
| その他 | 2, 890 | 2,680 |
| 固定負債合計 | 30, 404 | 29, 688 |
| 負債合計 | 52, 174 | 50, 988 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2, 097 | 2, 128 |
| 資本剰余金 | 1, 160 | 1, 185 |
| 利益剰余金 | 7, 459 | 7, 426 |
| 自己株式 | △275 | △233 |
| 株主資本合計 | 10, 441 | 10, 507 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 143 | 179 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | 4 |
| 退職給付に係る調整累計額 | $\triangle 25$ | △19 |
| その他の包括利益累計額合計 | 118 | 164 |
| 新株予約権 | 21 | 21 |
| 非支配株主持分 | 2 | |
| 純資産合計 | 10, 584 | 10, 693 |
| 負債純資産合計 | 62, 759 | 61, 682 |
| | | |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

| | *** | (単位:百万円) |
|--|------------------------------|------------------------------|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 |
| | 至 2017年 9 月 30 日) | 至 2018年9月30日) |
| 売上高 | 46, 552 | 47, 560 |
| 売上原価 | 28, 443 | 29, 672 |
| 売上総利益 | 18, 109 | 17, 887 |
| 販売費及び一般管理費 | 16, 837 | 17, 410 |
| 営業利益 | 1, 271 | 476 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 4 | 5 |
| 業務受託料 | 38 | 22 |
| 設備賃貸料 | 51 | 52 |
| 雑収入 | 45 | 38 |
| 営業外収益合計 | 139 | 119 |
| 営業外費用 | | |
| 債権売却損 | 21 | 23 |
| 支払利息 | 102 | 117 |
| 維損失 | 13 | 16 |
| 営業外費用合計 | 137 | 157 |
| 経常利益 | 1, 272 | 438 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 11 |
| 関係会社株式売却益 | 11 | _ |
| その他 | 0 | _ |
| 特別利益合計 | 13 | 11 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 8 | 6 |
| 減損損失 | 196 | 17 |
| 店舗閉鎖損失 | 8 | 13 |
| 組織再編費用 | 47 | _ |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 260 | 38 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1, 026 | 411 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 760 | 265 |
| 法人税等調整額 | △99 | 29 |
| 法人税等合計 | 661 | 294 |
| 四半期純利益 | 365 | 117 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失 (△) | 1 | △2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 363 | 119 |

四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

| | | (単位:百万円)_ |
|-----------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
| 四半期純利益 | 365 | 117 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 88 | 36 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2 | 3 |
| 退職給付に係る調整額 | 2 | 6 |
| その他の包括利益合計 | 93 | 46 |
| 四半期包括利益 | 459 | 163 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 454 | 165 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 4 | $\triangle 2$ |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | (単位:百万円 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
|------------------------------|---|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1, 026 | 41 |
| 減価償却費 | 771 | 73 |
| 減損損失 | 196 | 1 |
| のれん償却額 | 526 | 56 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 109 | 5 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 29 | △8 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △8 | |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 1 | |
| 役員株式給付引当金の増減額 (△は減少) | 22 | 1 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △38 | |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 136 | 12 |
| 受取利息及び受取配当金 | $\triangle 4$ | Δ |
| 支払利息 | 103 | 11 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | $\triangle 0$ | - |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | △11 | - |
| 固定資産売却損益(△は益) | $\triangle 2$ | \triangle 1 |
| 固定資産除却損 | 8 | |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 374 | 28 |
| 債権売却未収入金の増減額 (△は増加) | 65 | 4 |
| 調剤報酬等購入債権の増減額(△は増加) | 29 | 4 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | $\triangle 2$ | $\triangle 49$ |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 3 | $\triangle 4$ |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 65 | (|
| その他 | 511 | |
| 小計 | 3, 912 | 1, 5 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4 | |
| 利息の支払額 | △109 | $\triangle 1$ |
| 法人税等の支払額 | △447 | △1,50 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3, 359 | \triangle |
| 没資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | $\triangle 0$ | |
| 定期預金の払戻による収入 | _ | (|
| 有形固定資産の取得による支出 | △2, 017 | $\triangle 4$ |
| 有形固定資産の売却による収入 | 29 | 1 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △88 | \triangle |
| 投資有価証券の取得による支出 | _ | \triangle |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1 | |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △752 | |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却に よる支出 | △31 | |
| 事業譲受による支出 | | △96 |
| 事業譲渡による収入 | 25 | |
| 貸付けによる支出 | | _ |
| 貸付金の回収による収入 | 2 | |
| 差入保証金の差入による支出 | △23 | △1: |
| 差入保証金の回収による収入 | 29 | |
| その他 | 15 | <u> </u> |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | <u>△2, 811</u> | $\triangle 1, 47$ |

| | | (単位:百万円) |
|-------------------------------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 2, 408 | 666 |
| 長期借入れによる収入 | 5, 499 | 1, 300 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1, 440 | △1,835 |
| リース債務の返済による支出 | △347 | △313 |
| 自己株式の取得による支出 | _ | $\triangle 0$ |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得 による支出 | △1, 201 | _ |
| 配当金の支払額 | △148 | △151 |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 12 | _ |
| 非支配株主への配当金の支払額 | $\triangle 27$ | _ |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | _ | 60 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4, 755 | △274 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 5, 303 | △1, 797 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2, 235 | 10, 136 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少) | - | 125 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7, 539 | 8, 464 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

一部の連結子会社は、退職給付に係る会計処理における過去勤務費用及び数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(13年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より8年に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| 報告セグメント | | | | | 细胞物质 | 四半期連結 | | |
|-----------------------|----------------------|------------|---------------|----------|-----------|---------|--------------|----------------------|
| | 医薬品等 ネットワー ク事業 | 調剤薬局 事業 | 賃貸・設備 関連事業 | 給食 事業 | その他 事業 | 計 | 調整額 (注) 1 | 損益計算書 計上額 (注)2 |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 535 | 42, 862 | 803 | 2, 298 | 53 | 46, 552 | _ | 46, 552 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1, 193 | 1 | 283 | _ | _ | 1, 478 | △1, 478 | _ |
| = | 1, 728 | 42, 863 | 1, 086 | 2, 298 | 53 | 48, 030 | △1, 478 | 46, 552 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 934 | 1, 220 | △73 | 34 | △58 | 2, 057 | △785 | 1, 271 |

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△785百万円には、セグメント間取引消去39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△825百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。
 - 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| 報告セグメ | | | | メント | ント | | | 四半期連結 |
|-----------------------|----------------------|------------|---------------|----------|-----------|---------|--------------|----------------------|
| | 医薬品等 ネットワー ク事業 | 調剤薬局 事業 | 賃貸・設備 関連事業 | 給食 事業 | その他 事業 | 計 | 調整額 (注) 1 | 損益計算書 計上額 (注)2 |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 684 | 44, 033 | 1, 187 | 1, 586 | 68 | 47, 560 | _ | 47, 560 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1, 134 | 2 | 320 | _ | 23 | 1, 479 | △1, 479 | _ |
| ⋽ + | 1,818 | 44, 035 | 1, 508 | 1, 586 | 91 | 49, 040 | △1, 479 | 47, 560 |
| セグメント利益 又は損失 (△) | 1, 060 | 202 | 10 | 18 | △73 | 1, 218 | △741 | 476 |

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△741百万円には、セグメント間取引消去210百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△951百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。
 - 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。